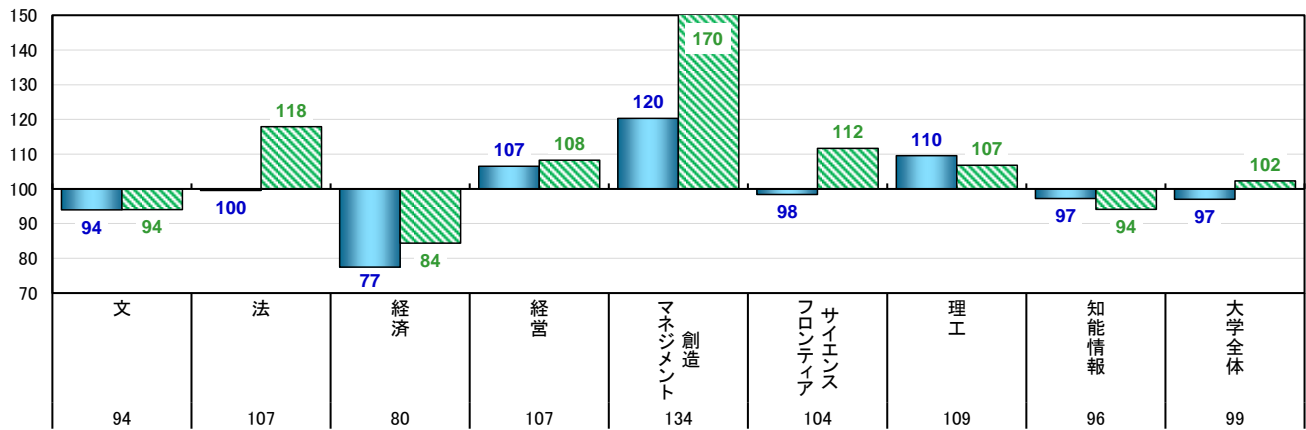


甲南大：大学全体では3年連続減少、マネジメント創造のみ反動で大幅増加 一般：-286人 共テ：+125人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



主な入試変更点 募集人員：法<共テ・後期>10人→5人
経営…<共テ・前期>20人→17人、<共テ・後期>5人→4人
<共テ併用・前期3教科型>32人→27人、<共テ併用・前期2教科型>8人→7人
マネジメント創造…<一般・前期2教科型>17人→14人、<一般・後期>8人→6人
理(物理)…<共テ併用・前期3教科型>6人→5人
(生物)…<共テ併用・前期3教科型>4人→3人
(機能分子化学)…<共テ・前期>3人→2人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、161人(99)の微減だが3年連続減少。学部別では、8学科中5学科が増加。マネジメント創造(134)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、理工(109)は増加、法(107)、経営(107)、フロンティアサイエンス(104)はやや増加。一方で、(経済)(80)は大幅減少で4年連続減少、(文)(94)、(知能情報)(96)はいずれも3年連続減少。方式別では、一般方式は286人(97)のやや減少で3年連続減少、共通テスト利用方式は125人(102)の微増で3年ぶり増加。

<一般方式>
○文(94)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(歴史文化)(120)は大幅増加、(社会)(112)は3年連続減少の反動で増加。一方で、(英語英米文)(72)は大幅減少、(日本語日本文)(81)は前年度3年ぶりに増加に転じたが、再び減少で大幅減少。(人間科学)(89)は3年連続減少。方式別では、<前期・2教科型>(122)は2年連続大幅増加、<前期・3教科型>(91)は3年連続減少と対照的で、科目負担が少ない方式への支持が高かった。
○法(100)は、前年度並だが3年連続増加がない。方式別では、<前期・2教科型>(125)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。<前期・3教科型>(96)はやや減少で3年連続減少、志願者数は2年連続1,000人を下回った。科目負担が少ない方式への支持が高かった。
○経済(77)は、大幅減少で4年連続減少。方式別では、<後期>(74)は大幅減少。<前期・3教科型>(75)は大幅減少で4年連続減少。<前期・2教科型>(100)は前年度並。
○経営(107)は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加で4年ぶり増加。方式別では、<前期・2教科型>(156)は3年連続減少の反動で激増に近い大幅増加。<後期>(127)も大幅増加。一方で、<前期・3教科型>(95)はやや減少で4年連続減少。
○マネジメント創造(120)は、2年連続大幅減少の反動は小さく、大幅増加でも志願者数は600人を下回った。方式別では、<前期・2教科型>(125)は大幅増加、募集人員減少(募集人員の前年度対比指数82)で志願倍率は4.9倍→7.4倍へアップ。一方で、<後期>(91)は減少だが、募集人員も減少(募集人員の前年度対比指数75)で志願倍率は2.8倍→3.3倍へアップ。
○フロンティアサイエンス(98)は、微減だが4年連続減で、志願倍率は7倍を下回った。方式別では、<前期・3教科型>(105)はやや増加で4年ぶり増加、<前期・2教科型>(91)は減少で4年連続減少。
○理工(110)は、増加だが前年度大幅減少の反動は小さかった。学科別では、(機能分子化学)(112)、(生物)(112)は増加、(物理)(105)はやや増加で、いずれも前年度大幅減少の反動は小さかった。
○知能情報(97)は、やや減少で3年連続減少。方式別では、<前期・2教科型>(107)はやや増加で3年ぶり増加、<前期・3教科型>(94)はやや減少で3年連続減少。科目負担が少ない方式への支持が高かった。

<共通テスト利用方式>
○文(94)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(歴史文化)(116)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(英語英米文)(107)は2年連続大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。その他の3学科は減少で、特に(日本語日本文)(67)は大幅減少で3年連続減少、志願者数は200人を下回った。方式別では、<前期・外部英語試験活用型>(142)の大幅増加が目立った。
○法(118)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加だが、志願者数は2年連続1,000人を下回った。方式別では、<前期・4教科型>(312)は、前年度大幅減少の反動が大きく300%以上激増。<後期・3教科型>(75)は大幅減少。
○経済(84)は、大幅減少で4年連続減少。志願者数は2年連続1,000人を下回った。方式別では、<前期>(109)は3年連続減少の反動で増加、その他の3方式は減少。
○経営(108)は、増加だが2年連続大幅減少の反動は小さかった。方式別では、<共テ併用・前期3教科型>(113)は増加、一方で、<後期>(76)は大幅減少で4年連続減少。
○マネジメント創造(170)は、2年連続半減前後の反動で激増。方式別では、全方式で大幅増加、特に<前期・英語重視型>(349)は約3.5倍。

- フロンティアサイエンス(112)**は、増加だが2年連続大幅減少の反動は小さかった。方式別では、〈前期・外部英語試験活用型〉(150)は前年度半減の反動で大幅増加、〈後期〉(71)も大幅減少。
- 理工(107)**は、やや増加。学科別では、(機能分子化学)(115)は大幅増加、(生物)(111)は増加で、いずれも2年連続減少の反動。(物理)(97)は、やや減少で2年連続減少。
- 知能情報(94)**は、やや減少で2019年度の約2.3倍増以降は3年連続減少。方式別では、〈前期・外部英語試験活用型〉(140)は大幅増加だが、その他の3方式は減少。